くみあいニュース No. 208

2024.11.26　発行 京都工芸繊維大学職員組合発行
https://laborunion.xsrv.jp/kitunion

新執行部による学長への挨拶

2024 年 11 月 15 日 14 時 00 分からおよそ 40 分間、新執行部が吉本学長に挨拶に伺いました。組合からは峯委員長、飯塚書記長、松本書記次長が出席し、法人側からは吉本学長、真下事務局長、壷井人事労務副課長他が出席されました。簡単な挨拶の後、吉本学長から半年間の取り組みが説明され、その後執行委員から質問および事実確認がなされました。主な質問およびそれに対する学長からの回答を以下に簡単にまとめます。

*半年間の主な取り組みについて

回答（学長）：これまで主にガバナンスの健全化について取り組んできた。打ち合わせの形式を改めるなど、コミュニケーションを重視するようにした。ただし、成果が顕在化するまでには時間がかかる。また、起こる事柄は大小に依らず様々なので、色々な見方で取り組むようにしている。

*MBWA(Management By Walking Around)として具体的に何をしているか?その成果は?

回答（学長）：MBWA では、方針の Summary を説明して、意見聴取を行っている。「学生教育の有り方」、「お金の使い方」、「物事の考え方」などに関する現場の意見は、主に分野の特性に依存して様々である。また、話題による強弱もある。MBWA によって、主に「問題意識」を把握できている。現状は学系長や学域長を中心に周って、「基本的なところ」の確保に集中しており、もう一段上げるために検討を進めている段階である。意見に対するリアクション（変更）はこれからである。

*教職員の数および給与について改善できるか?

回答（学長）：人件費の縮小を続けてきたが、現状を維持する状況に移行した。したがって、教員数も職員数も一定化している。特に再雇用や中途採用も始めるなど、育休・病休・短時間勤務などについてはパワーを確保する意向である。関連した法律の変更には対応する予定である。給与については、人事院勧告によるが、基本的には財務省の方針に従わざるを得ない。

*テレワークの導入についてどう考えているか?

回答（学長）：介護、育児等の場合に関してのみ導入を検討中である。その他の在宅勤務については、最適点が不明瞭であり、業務によって「合う・合わない」があるので、不公平感が生じる懸念がある。これをどう考えるかが課題である。不公平感が解消されるなら、導入の意義はある。最終的には教員ー職員間で同様な取り扱いとなる方法が良いと思っている。

*業務負担の公平性についてどう考えているか?

回答（学長）：「授業負担」は標準化できるので、ポートフォリオによる「見える化」などに取り組んでいる。「監督業務」は点数化して、対応している。一方、「作問」は標準化が難しい。「会議」はそれぞれの現場で決まるので、コントロールできない。「研究時間」の確保については、国を挙げての課題である。結局、MBWAによってリアリティのある話を聞き、多様性を目の当たりした上でまとめる必要がある。難しい作業であり、誤解がないように進めなければならない。

＊研究不正についてどう考えているか？

回答（学長）： 過去のものを取り上げられて問題化されることには問題がある。基本的には、当時の常識的なルールに沿って説明できれば問題ないと考えられる。ただし、強弱はあるので、ダメなものはダメで認めなければならない。現状では、文科省から「当時の基準に従う」というガイドラインが示されており、遡及適用は基本的にしない。

＊最も重視している取り組みは何か？

回答（学長）： 主に「ガバナンスの健全化」と「総合教育」の二つである。前者は「公式ルートの情報」を明確にすることによって、誤解をなくすような取り組みである。後者については、「評議会」を通じて、きちんとする。これらについて、できているかのチェックはMBWAなどを通じて行い、フィードバックをかける。教育に関しては、「研究に基づく教育」であると考えている。研究の「多様性」はコントラストを生み，それをうまく外に向けて発信することによって、リソースも確保できると考えている。したがって，多様な研究を推進し、活性化することが重要であり、できればこれに「お金・予算」をかけたい。「お金・予算」に関しては、研究の多様性を考慮した評価が困難なので、学内公募の形式は良くないと考えている。

＊昇任も公募にしたことによって混乱を生じたようであるが、どう考えているか？

回答（学長）： そのような時期もあったが、収束した状況にある。一部の例外を除けば、外部と競う必要があるので、今後も原則公募である。公募に関しては、事務作業が膨大になるという欠点はあるが、結果として優秀な研究者を確保でき、大学の研究レベルが上がったと評価している。昇任できない教員については、多様な意見・状況があり、画一的な問題ではない。

＊職員の休憩時間（プライバシー）の改善についてどう考えているか？

回答（学長）： 上記の問いかけに対しては、長い間この問題があることは認識しているとの回答であったが、明瞭な対策や意見等は示されなかった。

＊最後に組合員へのメッセージは？

回答（学長）： 今、色々と変革中なので、多様な意見が必要である。したがって、組合からの要望もありがたいと考えている。

職場での困りごと、組合の活動へのご意見、法人への要求事項などは組合までお知らせください。
・ご意見・ご要望の宛先：kit_shikko@googlegroups.com
・匿名で声を寄せられる場としてのフォーム：https://forms.gle/xNYPvweCy8LoWVNKA